

SEG 中3多読保護者アンケートの回答とそれに対する SEG のコメント

2016/5/23

SEG 英語多読コース

文責 古川昭夫

中3多読クラス保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の方から、アンケートで多数のご回答・ご意見・ご質問をいただきました。以下、○は保護者の皆さんからのご意見・コメント、■はSEGからの返答とコメントです。紙面の都合によりすべてのご意見に対してコメントを掲載しておりません。また、頂いたコメントの一部加筆修正を加えさせていただいた箇所がございますのでご容赦ください。

Q1 お子様はSEGの多読クラスの多読パートについて、どのようにお話をされていますか

◇中3多読Eクラスのアンケートから

■中3になり、E・E#クラスでは、1冊5000語以上の本を安定的に読めるようになる方が増えてきました。中には1万語を越す本も読めるようになっている方も出てきています。中3、高1は、多読の花が咲いてくる時期ですので、ぜひ、だんだんと長い本にもチャレンジしていきましょう。この春から始められた方も、1冊2000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていただきたいと思います。

- 面白い本をたくさん読むことができ楽しい。
- 先生の授業の進め方も楽しいし、いろいろな本が借りられるのがいい。
- 楽しいと話しております。
- すごく役立っていると言っています。
- 本を読むのが楽しい。読む力がついている気がする。
- 一斉読みの時はつい眠くなってしまいうようです。すみません。自分の本のときは、楽しく読んでいるようです。
- 以前より長い話の本を読めるようになり、楽しいそうです。(内容をどれだけ理解しているかはわかりませんが…)
- 英語は好きな科目になっています。"
- たくさん本に出会えることに喜んでます。面白い本について、家族に話してくれることもあります。
- 先生の本の選出のセンスがいい。読みたい本を選んでくれてうれしい。
- なかなかいいと思います。
- ただ先生に本を渡されているだけ。
- そういう印象を与えて申し訳ありません。できるだけ、渡した本の感想を共有するようにしています。

- いつも先生がいい本を選んでくださるので楽しいと言っています。
- なかには難しい本もあって時間がかかることもあるようですが、読むことは楽しいようです。(学年が上がり、学校行事もあり疲れて眠ってしまうことがあるようで、その際、起こしていただいているようで申し訳ありません。)
- 本の種類が多くて良い。
- “のびのびやっている”と。先日 50 万語を超え、オックスフォード・ピクチャー・ディクショナリーをいただいて喜んでおりました。ありがとうございます。
- とにかく楽しいらしいです。以前は具体的に何をしているのか話してくれたのですが……。
- もともと本を読むことが大好きなので、今はまだ簡単でやさしい本ですが、小学校の時にはまって夢中で読んだ“マジック・ツリー・ハウス”を読めるようになりたいと話しています。
- 中 3 のうちに、Magic Tree House 読めるようになると思います。
- ちょうど良いレベルの本を選んでいただいており、とても楽しいと申しております。
- 自分に合った本が読める。語数の多い本も読めるようになってきて、もっと楽しくなってきた。
- 今までと比べると皆で読むテキスト(ロミオとジュリエット)が難しくなったが、楽しく読めている。ついていけている。
- 早くもっといろいろな種類の本を読めるようになりたいと言っております。
- 特に自分からクラスの様子を話したりはしませんが、楽しんでいるようです。むしろ親の方が進行状況等を知りたいので、多読手帳にもう少しコメント等、記入していただけたらと思います。
- お子様は、非常に楽しそうに、Magic Tree House シリーズを読まれています。
多読手帳ですが、できるだけコメントを増やすようさせていただきます。
- 中 3 になり、リーディングの宿題が増えた。授業ではリーディングの内容に関して、もう少し詳しく解説してほしい。
- 中 3 になり、長い本が読める様になり、家で読んでもらう量も増えました。多読は、すべて個別に本を読んでいるので、多読授業は、リーディングの内容に関して解説するタイプの授業ではありません。本の内容と感想を聞いて、より興味を引ける、適切なレベルを選書して読んでもらうタイプの授業であることをご了承ください。
- いろいろな本が読むことができるので良い。
- 先生はいつも面白い本を選んで渡してくださるそうです。
- 多読の部屋にいると落ち着くそうです。”
- 楽しい。
- とても楽しく授業を受けているそうです。

- 自分に合った本を先生が選んでくださるので、90 分間興味が尽きることなく英語の本に引き込まれる、そうです。
(部活や行事で忙しい日々の中、大変貴重な時間のようにです。古川先生、いつも素敵な本をありがとうございます。)
- 自分に適した本を選抜してくれるので良い。
- 100 万語の目標に向かってがんばりたい。
- 最近面白いシリーズを読んでいるので、とても楽しいとのこと。
- 一冊の語数が増えてきたのと、YL が上がったこともあり、何冊も読むことができなくなった。高校受験を控えているが、多読の授業は続けたいとのこと。
- 高校受験には、YL2.0-2.5 の本を読むのが効果的です。受験もぜひ、頑張ってください。
- 3 年目になるので、何とは特に話しませんが、家で読んでいる姿をめったに見ないので、本当に読んでいるのか、どこでいつ読んでいるのか、少し心配ではあります。
- 授業中の読書の様子を、保護者会時にお話させていただきます。
- 本人から何も言わないのですが、しっかり本を読んでいる様子が伺えますので、特に心配ない状況です。
- とてもいい先生で、個人的な質問にも丁寧に答えてくださっています。
- 今の先生にお世話になって2年目ですが、休み時間などには、英語のことだけでなく、よく読む日本語の本について盛り上がったりと、楽しくコミュニケーションいただいているようです。
- 高校受験を予定しておりますので、理科的な内容の英語をたくさん読ませていただくと英語力と知識が同時に身につくので、うれしく思います。
- 現段階で読める理科的な内容の本は、内容が小学生レベルになってしまうので、高校受験で役立つ理科の知識レベルまでは残念ながら難しいです。高校受験の英語には、十分に役にたつと思いますが。
- 先生が変わったのでやり方も変わり、多少戸惑っているようです。話を聞く限りでは、ご自分でいろいろ工夫されている先生のように、親としては良いのではないかと思ったのですが、本人はあまり乗っていないようです。
- 自分に合った本を選んでくださるので楽しいそうです。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

■中3になり、Dクラスでは、多くの方が、1冊2000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊5000語を越す本も日常的に読まれる方も出てきています。全体的に、中2の時、バランス良い多読をした方は、読解力や読むスピードが上がり順調に推移しています。一方、「飛ばし読み」に偏りすぎて、「じっくり読む、高い理解度で読む」経験が足りない方もいます。中3のこの時期、「量を読む」と同時に「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やややさしめの本を多めに薦めています。一方、この春から始められた方は、1冊500-1000語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

- 以前より本が読めるようになったと話をしていました。
- はい。中2の時の地道な読書がここに来て着実に力をあげています。

- 特に何も言いませんが、楽しく通っているようです。

- たくさん絵本を読めるので、楽しいです。

- ある程度長い文章にもアレルギーなく読めているようです。

- 最近あまり話をしなくなっていましたので、よく分かりませんが、ロミオとジュリエットの本をいただいてきたときは、嬉しそうにしていました。

- クラスで先生が選び、与えた本を読む。自習のような形式。と申しております。

- 物語やミステリーもの等の本を好んで選択しているようです。クラスの雰囲気も気に入っていて楽しく受講させていただいているようです。

- 読める題材も徐々に増え、読書を楽しんでいる様子です。自分の力で英語の本が分かる様になることに手応えを感じているのだと思います。

- 現在、松野先生にご指導いただいておりますが、選書も的確で授業も丁寧に進めてくださると申しております。

- 読解力や読むスピードが上がると話していました。

- とても楽しいと話しております。だんだん難しい本が読めるようになってきて嬉しいです。

- 本がたくさんあって楽しい。

- 木曜の多読 D1 クラスは私語も少なく、クラス全体が真面目に取り組んでいるようで、落ち着いて過ごせるとのことです。

- とても楽しい。

- リラックスして本を読めるとのことです。普通の英語の文章を読むより、本を見ながらの方が理解しやすい。

- クラスメイトと和気あいあいで楽しいと言っております。

- よく見ていただいている。シャードイングがよくなったと褒めていただき嬉しかった。

- あまり話さない。きちんとやっているのか、不安はある。ただ、海外旅行に行くと、かなりパンフレットなど読めているので、知らず知らずに慣れている気がします。

- 最近、学校、部活が忙しく、疲れ気味で眠くなってしまうそうです。
- 中3になると、部活がハードになって大変かと思いますが、ぜひ、頑張ってくださいと思います。

○特に話さないが、楽しく通っている。

○あまり話さないのですが、今回聞いたところ、一斉読みで先生の説明のある部分は分かるが、それ以外の多くの部分が理解できないまま消化不良になっているそうです(説明なくても分かるべき……???)。

予習或いは復習しないといけませんね……? 普段やっていないようですが……。

□一斉読みの教材はやや難目ですので、多少分からないところが残っても現段階では気にしなくて良いです。

予習の必要はありませんが、復習はできればやった方がよいです。教材を音読するだけでも、良い復習になります。

○楽しく通っているようです。

○オチが想像できてしまう内容の本ばかりでつまらない。

○自分に合った本を選んでくださっているので、本を読むのが楽しい。

○苦痛に感ぜず、むしろ楽しみのように。いつの間にか力になっている感じがする。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

■中3になり、Cクラスでは、多くの方が、1冊500語~1000語程度の本を安定的に読めるようになりつつあります。また、1冊2000語を越す本を読み始める方も出てきています。一方、中3のこの時期、「しっかりと読む」癖をつけることが大事ですので、やさしめの本を多めに薦めています。1冊500語-1000語程度の本を「しっかりと読める」ようになれば、高校から大きく読書力・英語力を伸ばす事ができます。無理して長い本に手を出すのではなく、しっかりと読める本をしっかりと読む癖をつけていただければと思います。一方、この春から始められた方は、1冊200-500語程度の本が安定的に読めるようになりつつあります。新しく始められた方は、ここで焦らず、ゆっくりと長さの長い本に慣れていっていただきたいと思います。

○学校の授業より退屈しないので、面白く本が読める。

○多読授業中の文法の説明は面白くないが、ネイティブの先生の授業は楽しい。

○まだ始めて浅いのでまだまだですが、難しい本を読みたいと目標を持っているようです。

○楽しいと言って、自ら通塾を続けています。(根気よくフォローしてくださっている村田先生に感謝しております。)

○本を読むのが楽しいそうです。

○本のレベルを上げて欲しいです。本人は物足りなくモチベーションが下がっているとのこと。

□多読学会の研究でも、また、SEGでの経験でも、無理せずやさしい本をたくさん読んだ方が、無理してレベルの高い本を読むより英語力が伸びることが分かっています。そのため、テストの成績等を判断して、理解度高く読める本を中心に渡しています。ただ、本人のモチベーションも大事ですので、お子様と相談して、より適切な選書ができるよう調整したいと思います。

- もうすぐ 50 万語になればと喜んでます。
- 英語が苦手とっておりましたが、多読は楽しいようです。
- 最近になって、多読で内容が理解できるようになり、面白さを感じているようです。
- まだ始めたばかりなので淡々とこなしている感じで話しません。
- やりやすい。
- 英語が得意ではないのであまり話をしませんが、嫌がらず通っておりますので、着実に力をつけてほしいです。
- 本を読む時間はあっという間で、文法も少し勉強し始めた。本は簡単な本なので読みやすい。
- 楽しいとの事です。ロミオとジュリエットにはまったそうです。
- 楽しく、毎週楽しみにしているそうです。
- 普通に読んでいるとっています。本のチョイスは悪くないそうです。

◇多読多聴Rクラスのアンケートから

■R クラスは、新規入会の方が多いですが、中 1 からの継続の方もおり、幅広いクラスです。個人指導の時間が長いので、個別なバックグラウンドに応じて、個別の対応をさせて頂いています。

- 先生が本人のレベルに合った本を選んでくださり、ひたすら読書に集中できて、とても楽しいと話しています。
- 楽しい様子です。
- とても静かな環境で、落ち着いて読書できるそうです。元々読書好きの娘は、英語の本も日本語の本と同じような感覚で楽しんでいる様子です。
- とても集中して読んでいると話しております。

Q2 お子様は多読クラスの Native パートについて、どのようにお話をされていますか

◇中3多読Eクラスのアンケートから

中3クラスでは、英語で「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。特に今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。また、短い VIDEO をみてディスカッションをしたり、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しい Story を作るという授業も取り入れています。

- 2年生の時とは違う形式の授業で、とても楽しいと申しております。
- あり得ないお話を作るのが面白い。
- 4W(who, what, when, where)を使って自分でストーリーを作っていく取り組みが楽しい。
- 「何の単元を習っているの?」と聞くと「英語の先生が日本語で現在完了をしますとか仮定法しますなんて言わないから、何をやってるか分からない」と……ショックです。
- 数学と異なり、英語は総合的な授業です。中3では、文法単元ベースの授業は行っていません。Native Partの授業は、実際に子供たち自身が英語を使う機会を出来るだけ作るという主旨で構成されています。その中で、仮定法、完了形などの自然な使い方に触れ、日本語に対応する表現が無い表現も自然に学んでもらいます。
- 「クラスストーリーを作ろう」の意義や目的が今ひとつピンとこないまま来てしまったそうです。
- 中3以降のNative Partでは、できるだけ話す機会を増やすことを重視した構成となっています。しかし、なかなか、みんなが積極的には話さないという日本的な状況がSEGの教室でも残念ながらあります。発言しやすい雰囲気を作るため、全員参加でストーリーを作ろうという形の授業を本年度より取り入れています。
- 前は教本があったのになくなってしまい、教本があった方が分かりやすくて良かった。
- 中3向けの適切なレベル・内容のテキストが市販されておらず、(中高生向けのものは易しすぎ、大学生向けのものは、内容が中3生に向かない)ということもあり、今年からオリジナルテキストを用いています。ご意見を受け、より復習しやすいテキストに改善していきたいと思います。
- ゲームや映画により楽しく学べると、苦にならないそうです。
- ネイティブの先生の話をもっと理解できるようになったとのこと。
- 楽しいと話しております。
- いろんな楽しい企画があって面白い。
- 先生とのやり取りがとても楽しく、毎回授業でのエピソードを話してくれます。
- 大変良い。
- とても楽しいそうです。
- 先生のプライベートなお話を聞いたりして、日本と外国の違いなども知る機会になっているようです。
- 学校での英会話の授業でも、自信をもつてのぞめているようです。"
- 他の生徒さんと協力しながら課題に取り組んだり、楽しく授業を受けているようです。
- 先生のテンションが高くて楽しい。

- 授業がおもしろいです。
- あまり話してはくれないのですが、ただちょっとした雑談のようなものを話してくれることがあるので、楽しく授業を受けていると思っています。
- 面白く、興味が持てる。分かりやすい。
- “楽しいよ”といっています。
- 休み時間もマーク先生が音楽や食べ物のことなど雑談してくださるそうでとても喜んでます。SEG の行き帰りに、外国人旅行者にしょっちゅうバスターミナルや駅の出口について聞かれるらしいのですが、以前と違って、ちゃんと教えてあげられるらしいです。
- 授業がとてものしいといっています。
- いつもいろいろなゲームができて楽しい。また、いろいろな人とコミュニケーションがとれるので、コミュニケーション力がついてきた。
- 活気あふれる授業で、とても楽しいらしいです。
- 特に自分からクラスの様子を話したりはしませんが、楽しんでいるようです。
- 授業の進め方や説明が明確で理解しやすい。ユーモアのある先生で、授業が楽しい。
- 少し人数が多いという感じがするが、慣れてきた。
- ユニークで楽しい授業だそうです。
- 楽しい。
- とても楽しいといっています。
- ゲームをしたり、英語で授業中に観た映画について話し合ったり、と、とても楽しく充実している、と話しております。
- 色々なフレーズを教えてもらえるので良い。
- 新しい語句やフレーズを覚えやすく教えていただける。
- ネイティブパートのおかげで学校での ALT との会話やアクティビティの時間も楽しむことができているようです。マーク先生大好き！とは明言しませんが、楽しんでいるようです。昨夏カナダのキャンプに3週間参加しましたが、「何言ってるかわからない」ということはなかったようで、100%ではないにしろ、理解できていたことが分かりました。

- 楽しくストーリーを考えたりしている様子です。
- 自由な雰囲気の授業で、楽しいと申しております。
- 英語で物語を作る授業のとき、一部の生徒だけでどんどん話が進んでしまったことがあったそうです。全ての生徒に平等に発言の機会が与えられるようご配慮くださると大変助かります。
- できるだけ、多くの生徒に発言の機会を与えるようより一層配慮させていただきます。一方、これからの時代、自分から積極的に発言していくということも大事ですので、そのことも授業で強調したいと思います。
- マーク先生をととても慕っています。よく、先生がこんな反応をしたなど、楽しそうに話しています。毎週ネイティブの先生と話しているおかげで、おじ(カナダ人)の母親が来日した時、一緒にご飯を食べて、たどたどしくも会話に参加していました(すごい!)。毎週 SEG に行っているからと本人も言っていました。
- 前タームまでの先生がエネルギッシュな方だったので、娘にとっては少々つまらなく感じるようです。
- 前タームまでの先生は、2016年6月にアメリカに帰国予定のため、2016年度の担当クラス数が大きく減りました。そのため、一部のクラスしか持てず、ご期待に添えなく申し訳ありません。

◇中3多読Dクラスのアンケートから

中3Dクラスでは、英語での Game も取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気、「聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。普段の授業では、会話がメインですが、中3では、Creative Writing というところで、短いフィクションを数回の授業を使って書いてもらうということも行います。また、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しい Story を作るという授業も取り入れています。

- 皆で物語を作っていくことや授業の展開の仕方が楽しく、興味のわく内容と話してくれます。
- ネイティブの先生が、単語(表現)や文法などを英語で説明する形式は面白いといっています。
- 英語のお話を聞いて、少し分かるようになりました。
- ネイティブの先生と話をすることにも自然にコミュニケーションがとれるようになっている様子です。
- おとなしい性格だと思うので積極的に参加はしていないようですが、楽しく授業を受けているようです。
- 劇のような形式があったり、色々楽しい工夫がされていて、とても楽しんでます。珍しく自分から「今のネイティブの先生、楽しいんだ」と話していました。
- 多読パート同様、授業が充実しているようです。本人も満足しています。
- 発音や文法がより良く学べる気がすると話しています。
- とても楽しいと話しております。学校のネイティブの先生と比べるととても分かりやすいです。

- ゲームがあつておもしろい。
- 先生が楽しく授業されている様子を聞きました。
- 授業が楽しい。
- 学校の英会話の授業に大変役に立つとっております。
- 聴き取りができた時、嬉しそうに話すことがあります。
- 先生の授業は楽しく、映画も楽しめるとのこと。
- 先生が明るく楽しいと言っている。
- グループワークによるお話づくり、先生の授業展開がとても楽しいそうです。
- ゲームが面白い。
- 自分たちでアイデアを出してストーリーを作っていくのが面白い。
- 毎回話しかけてもらえるので、慣れて会話しやすく楽しみに感じている。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

中3Cクラスでは、「読む・聴く・話す・書く」を中心に授業を行っています。また、今年からは、「多書」ということで、5分間と時間を区切って、辞書なしにできる限り長い英文を書くという演習をとりいれました。まだ、語彙が少ない生徒さん、会話に慣れていない生徒さんも多いので、先生は平易な英語で、ややゆっくりと話す、あるいは、同じ内容をいろいろな言い方をして理解してもらおうよう工夫しています。また、普段の授業では、英語でのGameも取り入れて、できるだけリラックスした雰囲気ですすめるとともに、文法事項についても、適宜復習するようにしています。また、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)の手法を導入し、生徒と先生で、奇妙で楽しいStoryを作るといった授業も取り入れています。

- 先生と生徒とのやり取りが面白い。
- ネイティブの先生の授業は楽しい。
- リスニング力が上がっている気がするということです。
- 同じ内容を繰り返すことが多く、やや退屈。
- 理解の確認と、理解度を上げるため、Cクラスでは、同じ内容を繰り返すことがありますのでご了承下さい。
- 先生がやさしく、面白い。全て英語で聴けるところがとても良い。

- 何となく言っていることがわかるので、学校の授業より楽しい。
- 分かりやすい。
- ゲームのような形式で楽しく参加している様子を話しております。
- 英会話の授業のようで楽しい。
- 楽しいとの事です。
- とても楽しい。
- 部活の後なので居眠りをしてしまっているかもしれないそうです。そのような時は起こしてください。
- 担当の先生に伝えさせていただきます。

Q3 保護者の方が通常の英語塾ではなく、多読の授業をお選びになった理由は为什么呢

◇中3多読Eクラスのアンケートから

- 読書好きの息子なので、読むことから英語の親しんでもらいたかったの。せつかく中高一貫校に行っているの、英語を楽しみながら勉強してほしかったの。
- 英語の本を初級から順番にレベルアップできることと、耳から入る英語は重要だと考えたためです。
- 読む脳を効率的に習得することが、英語は重要であると考えたから。
- 生きた英語を身につけてほしいから。
- 英語の本を翻訳して読むのではなく、英語で読んでほしかったから。
- 娘が本を読むのが好きなので、英語で書かれている本も読めるようになれば、視野がもっと広がると考えたため。
- 英語の長文に慣れてほしいと思ったため。
- 友人に勧められたため。
- 受験も兼ねた、しかも受験以上の英語が身につくと思ったから。
- もともと読書が好きなお子もあり、自由に興味のある本を英語で読むことで間隔をつかむことをしてほしいと思いました。
- 楽しみながら身につけてほしい。学校の授業とは違う英語学習が大切と思い、選びました。

- 使える英語、実践的な英語を身につけてほしいから。
- 自分から発言をできるよう、もう少し積極的になってほしいから。
- 通常の英語塾にない、たくさんの本に出会えるから。
- 子どもが興味を示し、また、親の方でも習うより慣れろ、の考えだったので。
- 実際に、身につく英語に有効だと思った為。
- 大学入試の内容と中 1 の時の説明会での内容、無理なく英語力がつくと考えたので入会したが、自分の子には向いていないかも知れない。
- 英語の世界に目から耳から浸る時間を持てるため(私も通ってみたかったです)。
- 英語を好きになり、使えるようになってほしい。また兄が楽しく通っていたので(大変お世話になりました。感謝しております。)、選びました。そして大学受験では、英語が得点源となってほしいと思います。
- 受験の為の英語でなく、本当の意味の英語力をつけてほしい。言語で本を読み切る楽しみを味わってほしい。
- 詰め込みではなく自分のペースで進めていけるシステムが、マイペースな息子に合っていると思ったから。
- 本人が行きたがるので。
- たくさんの洋書にふれられることと、ネイティブ講師による英語のみの授業にひかれた為。
- 大学受験をしないので、受験英語を学ぶ必要がない。将来社会に出て使える英語を身につけさせたい。
- 将来的な英語力をつけることを考えて選びました。
- 将来的に楽しめて、使える英語を学べると思ったから。
- 文法は学校で十分教えてもらえるし、多読の効果を認識しているので。また他の多読塾よりも蔵書数、生徒数が多く、励みになると思います。
- 説明会に参加して楽しそうだったからです。他の英語塾の説明会や見学に行く前に入塾を決めてしまいましたので、他を知りません。
- 構文や単語を丸暗記したり、英文を日本語に置き換えるのではなく、より多くの文章を英語でとらえられるようになってほしかったため。
- 多読することにより、英語の力がつくと思ったから。
- 古川先生のご著書を読んで多読で学びたいと思った為。

- 以前から細かい文法を重視する事に疑問を持っていた為。"
- 小学校の時にアメリカに住んでおり、子どもは現地校に通っていました。子どもの英語力の向上に英語の本を読むことが重要であると、現地の先生から聞いていたため。
- 小学校の英語の授業が、英語を英語で理解するやり方だったので、SEG と共通する部分があったから。
- 古川先生の著書を読み、私たち親世代が学んだ方法と全く違う学習法に興味を持った点と、娘が幼少の頃から本が好きで、"多読"という方針が合っていると思ったから。
- 多読(読書がすきになってほしい)。・ネイティブパートの時間が長い。
- 使える英語を目指したいので。
- 受験向けのみではなく、英語を学ぶ楽しさが得られると考えたため。
- 英語のテストができるだけでなく、使える英語を身につけて欲しいと考えて選びました。
- 文法メインではないこと。多読パートと NativePart のバランスが良いこと。
- 英語でコミュニケーションがとれることを目的としているからです。
- 家庭でこれだけの本を選び、与えることは、我が家にはできないため。
- 使える英語を身につけさせたいから。
- 多読をすることで本当の英語力が身につくと思いました。
- 習うより慣れよです。テストのために文法などは自力で勉強もできるし、親も教えられますが、たくさんの英文を読んで慣れる習慣は、なかなか、英語が相当に好きでないとできないことと思ったからです。**効果はあったと思います。昨年は学校のスピーチコンテストで学年 1 位をもらいました！ありがとうございます。英検 2 次対策もほとんど不要で助かりました。**
- 英語を特別な学習としてではなく、当たり前のコミュニケーション手段として身につけてほしいから。

◇中 3 多読 D クラスのアンケートから

- 英語を学ぶために多読が一番効果があると思ったので。
- 大学受験のためだけでなく、普通に英語の本を読めるようになって欲しいです。
- 実践力。海外に出た時に気後れしない語学力が身につくと思ったので。

- 英語を楽しく学習できるのではと思いましたこと、英語を好きだと思ってもらいたかったのです。
- 英語を英語のまま理解することが、「英語を学ぶ」本質のため。
- 娘は本読むことが好きなので、英語で本を読むことによって自然と英語に慣れ親しむことができるのが良いと思った。
- 兄が良かったと言っていたから。**
- 大学受験に備えて
- アプローチがユニークであり、受験英語も大事ですが若いうちから生きた英語に触れる機会を与えたいと考えたことによります。
- 子どもが小さい頃から読書好きだったので、「本をたくさん読む」というスタイルが合っていそうということと、実践的な語学が身につく、ボキャブラリーが増えるだろうと思ったので。
- 生きた英語を大切に、学ばせたくこちらを選びました。ただなかなかクラス分けテストでは思うように点が取れず、上のクラスに進級することができません。通常の英語塾に切り替えるべきか悩んでおります。
- 読むことに慣れ、スピードが上がり理解ができることを望んでいたのです。
- 将来的に使える英語を身につけさせたかったことと、学校の課題、部活と忙しいので、宿題の多い塾は負担が大きいと思ったので。
- 本格的な英語力を身につけさせたいと思ったので。
- 文法・語彙は学校でしっかりやってくれるので、Reading や Listening を地道に取り組んでいけるのではないかと
思い、受講しています。
- 身近に英語があるというのは、とても良いことなんじゃないかと思ったため。
- 妹の塾で多読の良さを知ったから。
- 日頃からたくさんの英単語や文章に触れることで、英語に抵抗を感じず、自然に吸収できそうに考えるので。
- 英語そのものを好きになってもらうため。
- 受験だけにとらわれない生きた英語を学べる点に魅力を感じる。
- 本人の希望で、他塾も見学したが、座学が合わなかった様子。親も語学を辛い勉強としてではなく、楽しい学びとして身につけてほしいと思いました。
- 大学付属中学に通っているのだから、問題を解くというスタイルではなく、大学を卒業して将来も使える、生きた英語を学んでほしいと思ったため。

○以前長女が通っていて、長文を読むのが苦痛でなくなったと言っていたので。

○数学をお世話になるので、英語も、同じ塾でという理由が主ですが、ネイティブと日本人の先生(半々)による授業構成も魅力的でした。

○一般的な受験英語よりも、純粋に英語に対する好奇心から勉強する方が良いと考えたため。

○原文をすらすら読めるようになるため。

○抵抗なく英語の長文を読めるようになってほしいから。

○英語が聴ける、話せる、そして長文を読んで理解できるようになってほしかったから。

○机上の学習ではなく、使える英語を学んでほしいから。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

○勉強嫌いな息子でも、興味を持って英語に取り組めると思ったから。

○宿題が少なくて楽しく英語を学べる塾だから。

○SEGの良い評判を知り、入塾させました。

□ありがとうございます。

○言語習得の方法として、赤ちゃんの頃から日本語を聞いてただけで覚えたように、英語も同じ(どの言語も)であるだろうと思っているので、多読の理論に共感しているため。

○苦手意識を持たずに楽しめれば良いと思いました。

○マンツーマンの英会話塾に一年間通って話す力や発音は目指していたレベルに十分に到達したが、短期留学に必要な語彙力や文化理解をするのには、本をたくさん読むことが効果があると思ったから。

○洋書が読めるようになること。

○高校に上がったら受験英語も学んでもらいたいが、中学のときは、多読の方が本当の英語の楽しさを学んでもらえると思い、受講させています。

○たくさんの英語に触れてほしく英文をスラスラ読める力をつけてほしいと思ったため。

○学校や通常の英語塾では体験できないものを求めました。

○学校で学習できない英語の勉強ができる。大学受験の長文読解の対策になるから。

○英語に触れる時間が長く、本人の希望もあったため。

○学校の英語も娘にとってはレベルが高く、問題集なども多く、きちっとしてくださっているので、多読や Native による授業のような違うタイプの勉強法で英語にアプローチさせたかったから。

○新中 1 の説明会で、最近の大学入試問題が大量の英文の読解が必要であることを知り、文法重視の学習法ではいけないと思ったからです。

◇多読多聴 R クラスのアンケートから

○本人が読書が好きであることと、宿題の負担が少ないことで選びました。

○・英語の総合的な力をつけてほしかったため(長いスパンで見ても)。

○なかなか家でも時間を決めて英文を必ず読ませる時間がとれない。時間を買うようなところもあります。"

○英語を受験のためだけの学習としてではなく、将来におけるコミュニケーション言語の一つとして習得させたいと考えて選びました。英語で書かれた論文や書物も抵抗なく読める力をつけさせたいと考えています。

○将来、英語の文章を読むことが必要になると思ったから。

Q4 大学受験に向けて、今後、SEGの英語多読クラスに対する要望や気になる点・ご質問等がございましたら、お知らせください

◇中3多読Eクラスのアンケートより

○大学受験は本人に任せているので、私は何も分からないのですが、本クラスが受験勉強においてどのような位置を占めているのかは気になっています。いつまで受講するかも検討したいので、そのあたり教えていただきたいです。

□ 高1の3月(新高2の春期講習)から始まる受験英語のコースと、高2の1月(3学期)から始まる受験英語のコースの2コースを用意しています。

○何年か続けた後、最終局面に入った時に、細かい受験への対策は講じてくれるのか(例えば和訳)?

○今の多読の授業だと、学校の試験や大学受験の対策に直結していないと思われるので、大学受験が近づいたら、少し内容が変わるのかどうか、気になっています。

○多読の学びは好きですが、大学受験となりますと、やはり文法や英作文等が気になります。大学受験の対策や指導も強化して頂きたいと思います。

□新高2の春期講習から、より大学受験を意識した内容に変わっていきます。具体的には、

高2多読RSコースでは、新高2の春期から、Native Part が受験指導パートとなり、多読を続けながら、入試に備えて、精読・和訳・Writingの授業を日本人の講師が行います。

高2多読FGコースでは、Native PartはWriting, Discussionが中心の授業となります。多読パートの一部の時間を削り、その中で、和訳・Writing・入試Listeningの訓練も開始します。

高2の1月からは、全クラス受験対応のクラスとなり、多読を続けながら、大学入試問題を素材の中心に、入試演習を行います。

○単語・熟語力は多読によって自然に身につくか不安。

□読んで分かる単語・熟語は自然に身につけていきますが、綴りは、意図的に覚える必要があります。
意味を覚えた単語・熟語を1回でも、自分の手を使って書いてみるのがお勧めです。

○英語は好きなのですが、学校の英語の授業は苦手です。特に文法は、全く分からない状態です。

□「書くため」、「話すため」に特化した英文法の参考書を読むことをおすすめします。
例えば、「一億人のための英文法」(大西泰斗、ポール・マクベイ)などがお勧めです。

○中学3年生というこの時期に、SEG 以外で(家で)した方が良かったことがあれば、教えていただきたいです。
(今は、学校の予習や定期試験前の復習だけです。)

□洋書を読む、洋画のDVDを英語字幕で聞く などでしょうか。あとは、学校の予習・復習だけで十分です。

○個人差はあると思いますが、この進度だと1日これを何回が望ましい、という目安があると、親としても子どもの取り組み具合に関して安心できるので、お願いしたい。

□1日これを何回という目安はありませんが、中3多読Eクラス在籍ということであれば、家で、5000語~10000語の読書をするというのが一つの目安になると思います。

○単語力がついていない。

□着実な単語力をつけるには、昔ながらの単語カード(表に英単語、裏に例文または日本語)を使って、意識的に単語を覚えるのがお勧めです。

○今後とも宜しくお願い致します。

○新試験の対応をよりお願い致します。

○自分からもっと読みたい本人に合った(レベル・好み)本をたくさん薦めてください。そして自分からもっと読みたい、話したいと思うようになってくれれば……。

□中3の終わりから、高1の初めに、「自分からもっと読みたい」と思うようになる生徒さんが増えてきます。お子様にもそうなってもらおう、しっかり多読指導したいと思います。

○学校の定期テストや単語テストを軽視します。「私はSEGでがんばっているから大丈夫なの」と変に自信を持っているような気がします。かと言って、多読の勉強も出された本を週に1~2日読んでいるくらいです。このままで良いのでしょうか？

□大丈夫です。ただし、語彙はちょっとづつ覚えようと意識した方がよいでしょう。

○大学受験に向けて、中3以降、SEGでどのように学んでいくのか、お話をお伺いできればと思います。

○宿題で持ち帰る本はCDの付いていない本が全ての時は、1週間CD読みをしない事になるのでリスニング力が落ちないか心配します。

□多くの本にはCDがついています。CD付の本を読みたいとリクエスト下さい。

○多読のテストは実際の受験校の試験にどのくらい直結しているのか？受験の模試などと、どれくらい近いのか？
(又は異なるのか？)

□ACE テストは、センター試験とはかなり親和性が高いです。

○エッセイの時間を増やしてほしい。

○中3 卒業後にカナダへ高校留学を考えています。何かアドバイス等いただけたらと考えています。

□(1) 1年間の交換留学なのか (2) カナダで Grade 9 にはいって、高校卒業までの長期留学なのか
(3) 高校卒業後、カナダ・アメリカの大学に進学したいのか、日本の大学に進学したいのか
によって、勉強法がことになってきます。個別に相談を承りますので、別途連絡させていただきます。

○たくさん読んでいる割に、単語が定着していません。単語や熟語が結局点数を左右するので、何か、しっかり定着させるような方法はないでしょうか。

□着実な単語力をつけるには、昔ながらの単語カード(表に英単語、裏に例文または日本語)を使って、意識的に単語を覚えるのがお勧めです。

◇中3 多読Dクラスのアンケートから

○できるだけ多く読んでほしいと思っています。ただ本人がそれほど主体的ではないので、今は細く長く続けていけるようにしていきたいと考えています。

○本人次第ではありますが、英語力が上がり、上位クラスへ行けるよう、何卒ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○大学受験はしませんので、社会に出て役に立つ英語スキルを身につけてほしいと願っています。

○夏期講習の時など、予定の関係で他の授業(別の先生)を受講すると、本のレベルが違い、本人はもっと語数を上げていきたいとの要望を言います。クラスによって先生の方針で本のレベルも違うのでしょうか。

□生徒が「どの程度本当に読めるか」を判定するのに、どうしても、それなりの時間がかかります。そのため、新しい先生は、難しすぎる本を渡すのを避けるため、自分が初めて担当する生徒に対しては、原則として、易しい本を渡して様子を見ることとなります。その結果、どうしても、最初の数日間は易しい本を読んでもらうことがあります。また、生徒に渡した本が、十分に内容が理解できていないと、担当の先生が判断した場合、易しい本を読み続けてもらうこととなります。正直、「本の読み方が荒すぎる」と判断した場合、レベルを下げることもありますので、総判断されないためにも、読書記録手帳には、感想をしっかり書いていただくようお願いいたします。

○お借りした本、読まないまま戻しているのかしらと思う場面もあります。

□読めなかった場合には、気にせず、戻していただくので構いません。より適切な本と交換するようにしますので。

○テストについてのフィードバックがスコアのみで、問題をもらえないので、復習ができません。また、テスト対策も本人いわく「やり様がない」と、いつも準備せず臨んでいます。効果的な対策、復習の仕方をご指導ください。

□外部テストなので、契約上、問題を返却できませんが、授業中に「問題」を見ることはできます。担当講師の方に、復習したいので、問題を見せて欲しいと伝えて下さい。

○日頃の宿題の管理をしっかりやってほしい。

○文法が弱いので、授業時間内で特別講座のような内容を少しずつ取り入れてほしい。

□授業時間は短いので、時間内で特別講座のような内容はなかなか実施する余裕がありません。文法の補講講座や、季節講習の講座の受講をお願いします。

◇中3多読Cクラスのアンケートから

○長文読解力に合わせて、文法力も身につけたい。

○当初、学校のテストで点がとれないというので戸惑ったようですが、やはり“楽しい”ことから細々と続けることができ、実力がついてきているなど感じる3年目です。英語のドラマを子どもだけが理解しているなど。これからが楽しみです。

○子どもがあまり授業について詳しく教えてくれないので、どんなことをやっているのか把握していない。今度の相談会で教えて頂けるとありがたい。

○受験英語を目的としている訳ではないが、SEGは中学クラスも受験を視野に入れた学習を考えていると思うので、どういったことが今後の大学受験に求められる英語力に効果があるのか、具体的に知りたい。

□入学試験でも、東大の推薦入試、京大の特色入試等で、英語の口頭試問をするところが増えていきます。Nativeの授業で培うListening力、speaking力は入試でも必要な時代になってきます。また、多読が長文読解に役立つのはいうまでもありません。

○受験英語もやりたいと思っています。文法が苦手で、そちらも勉強できると助かります。

□高2になるまでお待ち下さい。

○大学受験に向けて、書くことや問題を解く力などは、どのように学習すれば良いのでしょうか。また、文法や構文などの学習をするための参考になる本などがあれば、教えてほしいです。

□例えば、東大のWritingは基礎的な英文法だけをしていてだけで十分に作文できます。ですので、過去問を素材に、実際に書く演習をするのがよいでしょう。問題を解く力は、問題文・設問文をしっかり読むことにつきます。そのコツなどは、高3の授業で行います。例えば、東大入試の攻略本としては、「東大英語の核心」(関正生、研究社)などを読まれるとよいかもしれません。

○学期末に行うクラス分けテストの内容は、授業とは関係なく前回の様にACEを受けるのでしょうか？

又は数学の様にテキストの範囲などがあるのでしょうか？

□英語では、すべての試験は、授業内容とは独立な問題が出題されます。

○単語と文法力をつけるために(あまり苦勞を伴わずに)効果的な学習法はありますか？(多読の補完として)

■英文日記とかはどうでしょうか？ 一日2行でも、3行でも構いません。Outputすることで、単語の綴りを覚え、また、自分で書いた文を自分でチェックするだけでも、文法的により正確な英文を書けるようになっていきます。

◇多読多聴Rクラスのアンケートから

- 何回かに1回(ターム中1回程度)は受験長文問題のようなものを読めるといいと思います。
- 多読多聴Rクラスは、学年横断のクラスですし、様々なレベルの方が通っていますので、クラスで統一して、受験長文問題のようなものを読むのは難しいです。ただ、多読教室には、Reading 教材も蔵書として保有していますので、希望があれば、多読の素材の一つとして、「長文問題のようなもの」を読むことは可能ですので、ご希望を担当講師までお申し出ください。

- 英検1級取得のための講座が通常のクラスとして開講されることを望みます。
- 担当の先生と相談して、個別に返答させていただきます。

- 英文でエッセイを書いたり、英語でディスカッションしたりする授業を希望します。"
- 通常の高1・高2の多読授業のNative Partでは、普通に、英文でエッセイを書いたり、英語でディスカッションしたりする授業を行っています。